館報 大豊

発行所
高知県長岡郡
大豊村中央公民館
電話杉55番
印刷所
みちや印刷所

(無料配布)

大豊村建設審議會発足

新村建設五カ年計画を調整

さし當り九項目の「基礎調査」を実施

大豊村合併前、昭和二十九年度に於て関係四ケ村の協議により策定された新村建設五ケ年計画は合併後における村の一体的な立場から改めて科学的に調査検討して眞に新村の区域全般に亘つて基本的な建設経営計画を樹立してその円滑、適確な実現を図るため、国の指定にもとづいて「新村建設計画調整事業」を実施することになつた。

新村建設計画調整事業はさし当り次の九項目にわたり基礎調査の実施である。

1、地勢、気象、その他自然条件
2、人口、世帯数の構成移動増減等の状況
3土地及び水面の利用状況
4産業の構造、物資の生産流動、生産施設等の状況
5公共団体、その他各種団体の経営状況
6所得、消費、雇用等の状況
7、治山、治水、利水、土木、交通、運輸、通信、公園、緑地等の施設の状況
8、教育、文化、社会福祉保健衛生等の施設及び生活環境等の状況
9、新村の財政及び金融の状況

これらの調査は、すでに行なわれているが十二月末までに集計を終る予定である明年一月中には調査の結果にもとづいて新村建設の基本的な構成及び実施計画の策定並に県との下協議に入る。

二月中に各種の調整を終り三月には一切の作業を終つて定例村議会に提案され決定される運びである。

また、これら事業の円滑な調整を進めるに当り住民及び関係団体の全面的な理解と協力を得るため、新村建設審議会が設置された。審議会委員は村長が委嘱し九月二十七日に第一回の会合を持つた。

同日は県地方課より町田係長、近森主事が来村し同席上に於て国、県の指導方針全般的要領について説明があり、会長に釣井朋水氏、職務代理者に佐藤多磨呂氏を選出したのち、同事業の実施につき活潑な質疑応答が行なわれた。

大豊村建設審議会委員は次の通りである。

下村博保、小笠原賀穂、釣井朋水（長）、吉村孝吉、小笠原清浩、野島信豊、西岡利行、秋山正隆、都築栄小笠原奉恵、三谷盛清、森下義秀、大利雪中、森山茂貴、佐藤多麿呂、門田盛一郎、吉松久盛、秋山重実、西村泰登、岡林政美、三谷村長。以上二十一名

大豊村教育委員會

委員長と委員更迭

新委員長に 都築 栄氏

新委員に 西岡治郎氏

西岡広教育委員の任期満了のため、三谷村長は去る十月二十三日の村議会に於て西岡治郎氏（戸手野）を任命し議会の同意を得た。

新委員を加えた教育委員会は十一月四日に会を持ち委員長及び委員長職務代理者の任期満了による改選を行い委員長に都築栄委員、職務代理者に西岡治郎委員を選出した。

また同席上に於て前委員西岡広氏の功労に対し村長より感謝状と記念品が贈られた。

西岡治郎委員の略歴

海南中卒、元陸軍中尉、旧天坪村議会議員、旧天坪村教育委員会委員。現在は農業。大正三年六月十八日生

写眞は委員長 都築 栄氏

おことわり

新委員西岡治郎氏の写眞は本紙発行迄に間に合いませんでしたので掲載出来ませんでした。こゝにおことわり致します。（公民館）

第二十三回 大豊村議会定例会

新教育委員任命に同意 追加更正予算その他を議決

第二十三回大豊村議会定例会は十月二十三日午前十時より開議し、二十五日迄の三日間にわたり追加更正予算案、教育委員任命など二十議案を慎重審議して、二十五日午後四時に閉会した。提出議案次の通り。（それ〲原案通り可決）

◇大豊村一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について。

◇大豊村一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正について。

◇単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例制定について

◇大豊村部落長設置条例の一部改正について。

◇川口小学校敷地購入について（三八二・八五〇円）

◇村内私設工事施行の一部変更について。

◇土地及び立木売渡仮契約解除について（旧西豊永村と峰川梅一との仮契約）

◇村税減免について（粟生・秋田昭一、秋本教保。中内・平石友輝）

◇起債について（杉小学校建築工事資金、過年度発生公共災害復旧事業資金の起債、三五〇万円）

◇大豊村教育委員会委員任命について（戸手野 西岡治郎氏42才）

◇昭和三十二年度大豊村歳入歳出追加更生予算決定について（追加更正総額八、七〇〇、九〇九円）

◇大豊村耕地事業災害復旧工事施行について（天坪広瀬頭首工、寺内農道、天坪一の瀬頭首工、庵ノ谷水路橋梁）

◇林道復旧工事施行について（林道岩原本線第二号）

◇村有財産処分について（大滝、隔離病舎）

◇大豊村職員定数条例の一部改正について

◇地方自治法オ一三八条の改正に関する意見書提出について（町村議会の事務局設置について）

◇町村議会事務局設置の法制化に関する請願書提出について。

◇財政再建計画の一部改正について。

◇県橋大岩橋架換に関する意見書提出について。

◇村有財産処分変更について（元天坪村隔離病舎の天坪農協への無償払下）

注、（ ）内は内容を示す。

大豊村中央公民館

新委員を委嘱

委員長に森山茂貴氏

大豊村教育委員会では中央公民館運営審議会委員の任期満了にともなつて、今度新しく新委員の委嘱を行つた。

審議会では九月十二日に組織会を、十月四日に第二回の会合を開き、配分予算の承認、政治討論会、学級の持ち方、部落に於ける視聴覚教育のあり方等について研究協議をした。

委員は次の通り。

西岡一生、岡村千年、飯田正福、徳弘秀行、松村佳景、森正樹、北村長徳、三谷啓保、小松重実、小笠原長猪、橋本晴喜、森山茂貴、正木晏、山中正己、岡林住衛、楠島正之、吉岡義成。門田盛一郎、三谷徳太、三谷築波、小笠原文男、釣井正亀小笠原暢秀、小笠原重夫、樋口喜三、西岡俊郎。

尚運営委員長は森山茂貴、副委員長は岡林住衛。

【社会教育法】

第二十九条　公民館に公民館運営審議会を置く。

2公民館運営審議会は館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

統合は合併時の条件

教育施設の充實に「重点をおく」

中學統合先進地 視察報告記

大豊村教育委員会の八木委員、都築委員、教育長、松高係長の四名は学校統合先進地の視察に十月八日より十一日までの四日間の日程をもつて兵庫、鳥取両県におもむいた。

以下はその報告記である。

兵庫県養父郡八鹿町は昭和三十年二月一日伊佐村、宿南村、高柳村、八鹿町の四ケ町村が合併した町で人口一六、五〇〇人、戸数約三、〇〇〇戸の町である。

小学校六校、分校一校、中学四校、分校一校であつたのを現在は伊佐村と宿南村の中学校を（七学級）一校とし建築中で十月十九日頃落成式予定である。尚、高柳村、八鹿町をも一校に合併する予定で現在建設審議会に教育長試案として提出審議中であり下部組織の啓蒙（部落との懇談）には教育委員、PTA会長が当つている。

本村は最初の合併条件に中学校は必ず統合することをオ一条件としてあること、又本年度の予算面を見ても村民税二割増税を以て教育費に充当し中学校統合及び教育の充実に資することが大豊村等で見られないことである。

生徒の通学距離についてはバス及び自転車を利用、七粁位が最大の距離で冬期積雪の場合は分校をもつとか又は冬期の休業を長くもつている。

鳥取県八頭郡若桜町は昭和二十九年三月三十日池田村若桜町二ケ町村合併の町で人口約一万人である。

本町は合併条件として中学校統合をすることをオ一条件に置き昭和二十九年度三十年度に若桜中学校を建築実施している。

統合前は若桜中は十学級、池田中は五学級であつたが現在は統合して十三学級である。

統合による教員人事は小学校に転用勤務させている。

生徒の通学についてはスクールバスを一台購入し充当しているが尚一輌増台の予定であり、当日町長等が購入にあたつていた。

教育費は約五十%を示している。

八頭郡用ケ瀬町は昭和三十年三月三十一日用ケ瀬町、大村、社村の三ケ町村合併で人口約六、五〇〇人である町村合併の条件が中学校整備をすることに重点を置き昭和三十年十月より学校統合を行い、三十一年四月一日新校地に建築統合を実施している。これは最初大村用ケ瀬の組合立中と社村中学校を統合一校としている尚、現在校舎の増築を実施中で近々中に完成の様である。生徒の通学距離は最大十一粁でその他は八粁であり、昭和三十一年度は通学奨励費を八万円計上してあり冬期間は寄宿舎に収容して通学の便をはかつている現在の生徒数は四三〇名で九学級編成である。教育費は約四十%を示している。

綜合して三ケ町村の概要を申し上げたが地域が険阻な中国山脈の高峰が蛇蜒としている間の各河川にそい緩急耕地に直接する部落は海抜七十米より五百米の間に散集している。

交通は播但線及び山陰山陽を結ぶ鉄道因美線が通じてバスと共に交通運搬の主要路をなしている。

戸数の約六割は農家であり米、木炭が主で最近は果樹の栽培が盛になりつゝあり全体的に見て富裕である。

視察した点から見て小、中学校共に各校体育館を有している点及びどこの学校も二階建で校舎等が整備されているところからしても地方全体が教育に重点を置いていることが想察される。

公明選挙推進のための話し合い助言者決る

大農選挙管理委員会

公明選挙運動は国民すべての心からの希望と熱意によつて自主的にもり上るべきものでなければなりませんこのため国の定めた「公明選挙常時啓発委託事業要綱」に基づき大豊村も本年度「公明選挙常時啓発一般委託事業団体」として承認せられ、去る八月十九、二十日の両日高知市自治会館に於いて「公明選挙常時啓発委託事業」話しあい助言者養成講習会が開催せられ本村よりも山崎、栄枝、村田各書記が出席受講したのであるが、更に五名の「話しあい」助言者の助言者を作り置くことに決定、これが選衡推薦にあたつては選挙管理委員会の委員長が直接選衡の上推薦、承諾を得たので去る十月二十一日県選挙管理委員会事務局西川係長出席のもとに役場会議室に於いて公明選挙常時啓発一般委託事業助言者講習会を開催して「話し合い」の具体的な方法等について協議が行われた。「話し合い」の実施に当つては映画スライド等を併せ行い最も気軽く手近な問題からとり上げてゆく事とし実施集団は婦人会、婦人学級、社会学級、青年団青年学級、社会学級等より序々に推し進めてゆくよう話し合いが行われた大豊村公明選挙常時啓発一般委託事業話し合い助言者

選挙管理委員会書記　山崎　義高
補〃　栄枝　万福
〃　村田　忠雄
公民館主事　平尾　俊一郎

助言者の助言者
東豊永地区　西川　三谷徳太
〃　岩原　小笠原俊信
西豊永地区　舟戸　中西盛興
大杉地区　日浦　松岡春美
天坪地区　本村　佐藤多麿呂

尚、高知県下の「話し合い」助言者数は一八〇名で三、〇〇〇人に一人の割合である。

人権擁護委員委嘱

野島信豊氏 秋田一氏

大豊村の人権擁護委員として活躍をした岡林住衛氏は一月十九日付で任期が満了したので、その後任として野島信豊氏（六十一才・杉）と秋田一氏（六十才・落合）の両氏が村から推薦され、八月十五日付で法務大臣から委嘱発令された。

解説

人権擁護委員は国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し、若しこれが侵犯された場合には、その救済のため、すみやかに適切なる処置を採ると共に常に自由人権思想の普及高揚に努めることをもつてその使命としている。

委員が職務を執行するに当つては関係者の身上に関する秘密を守り人種、信条、性別、社会的身分、門地又は政治的意見若しくは政治的所属関係によつて差別的又は優先的な取扱いをしてはならないことになつている。

野島信豊氏

秋田一氏

地方自治監査について

大豊村監査委員　吉村孝吉　門脇盛恒

新しい憲法下に地方自治法がその付属法典として制定施行されてから既に十年を経過し地方自治制度は法的に完成の域に達しつつある今日その実情はどうであろうか。財政上の自治はとうてい望むべくもないのが現状であり此の様な現状下に於いて監査員は地方行政運営における公正と効率を確保すべき重要な責務を負わされているのであるが此の使命の達成にあたつて（監査の心構え）先づオ一監査は住民のために行われなければならないという事であると思うのである即ち監査は住民の納めた血税の認識に基づいて行われなければならないと思うので住民の納めた税金が住民のためにどのように使用されているか税金のゆくえを追及してそれが行くべからざる所に行つてはいないかを監査することが監査の第一義として監査を行つている次第である。（着眼点）①計算に誤りはないか②予算の執行は適確に行われているか③収入支出は合法的に行われているか等を主眼に置いて行つているのであるが何等不都合の点はないのである次に補助団体監査について

1、補助対象事業が補助に値いするものであるかどうか。

2、補助の目的を達しているかどうか。

3、補助金交付の時期は適正であるかどうか。

等を主眼に置いて監査を行つているのであるが昭和三十一年度の補助団体の補助事業が旧村当時よりのゆきがゝり等により必ずしも主眼に副えない監査であることを遺憾とし今後の監査は主眼に副える監査を行うべきもので補助事業の達成と一層の御認識を望むものである。

時を守りましょう

集会の時間励行をやろう

主催者は定刻五分前準備完了、正直者が馬鹿を見ぬよう、どんな時でも、待つ身になって時間励行。

信義を重んじ約束を守ろう

商取引も、契約も期限を違えぬよう、無駄足ふまぬよう……紺屋のあさってを追放しよう。

時は金なり時間の合理化

家庭の主婦も、学生も、多忙の事業家も、公務員も無駄をはぶいて、時を有効に利用しよう。

図書室移転 只今貸出し中

中央公民館ではこの程、図書室を役場二階に移しました。

十一月初めから新刊書百冊余りを加えて現在貸出中であります。

貸出しは従来通り一人二冊以内、期間一週間で無料部落や団体等には二ケ月の期間で二十冊内外を貸出しています。

農業関係のスライド購入

本館では今度新しく次のスライドを購入しまして貸出しを初めております。部落活動、農業研究などに御利用下さい。

1、畑作改善のねらい
2、有利なキリの栽培
3、時山の薪炭林業
4、稲の施肥設計

農振会 懸賞論文

たった一通で幕切れ 応募不振の原因は？

本年三月十八日発行の本紙へ農業振興団体発足を記念して論文の懸賞募集を公表したのであるが締切日の五月末を過ぎても僅か一通（川口南宮崎海一氏）の到着を見たのみで一向に応募がなく止む得ず打切りになつた。

これについて主体者の大豊村役場經済課長西村泰登氏は次の通り述べている。

「農業振興に対しては、かくれた多数の貴重な御意見があるものと信じています。今回の論文募集の不振については色々考えられるが、論文などと名付けた関係で難しく考え過ぎている面があつたと思います。立派な御意見を持たれ乍ら日々の生活に忙殺されて書けなかつた人も多数居ると思います。この種論文は作文の競技ではなく、衆智を募り施策の万全を図るものでありますから、この種の募集でなくとも農業振興に対する積極的な御意見を平常文章の形式で結構ですから大いに事務局へ出していたゞきたいと思います。

宮崎氏には、その御労作に対して記念品料を呈上するようにしています。」

豊な栄養源 山羊を飼おう

不景気となれば栄養もとれなく休養が少なくなり余分に働く、そのため体力を酷使し病気が多くなつてくる。人間はなんと云つても健康が才一である。手軽るに毎日栄養をとることを考えよう。

草から豊な栄養を！

山羊乳の一合は白米一勺、タマゴ一ケ程度の栄養がある。

牛乳より栄養価が高いこの山羊乳を毎日飲めば体は知らず〳〵の内に元気になる勿論飼育に手間がかゝるのはあたりまえだが成牛一頭の飼料で七頭の山羊が飼えることを思えば、そう大騒ぎをしなくてもよい。

飼うならば登録証のある血統の正しいものを相当多数飼育し、有名産仔地帯となつて仔の販売収入を多くし、取引きを安定することである。

大豊村農業振興協議会では本登録物を主産地より明年の春移入する予定であるから希望者は今から資金（五千円〜六千円）を準備しておくとよい。（農業振興協議会）

農業講座

先進地では反当千貫の収入

こんにゃくの改良栽培

大豊地区農業相談所

山村農家の収入源である「こんにゃく」が放任状態で栽培されているのは残念です。先進地の徳島県木屋平（コヤダイラ）村では反収八〇〇貫から一、〇〇〇貫も収入を上げています。気象条件や土地等も当村と大差ありませんのでやる気でやれば出来ると思いますから一人でも多く改良栽培を取り入れて増収して実際に収入を上げて下さい。

改良栽培の方法

（一）生子（きこ）の採取とその播き付け

（なければ石玉でも可）の生子を親掘の時に丁寧に穫り上げてセレサン石灰（イモチ病に使うもの）を薄霜程度にまぶしてイロリ等の煙の昇る所に棚を作り保存する（堀取後雨に叩かれて出ているものをよく拾つて集めて下さい）木屋平村では堀取り一日五坪平均この位い生子を丁寧に拾つている。翌春三月下旬〜四月上旬に完熟堆肥（よく完熟させてないと芋が腐敗する）を二尺毎に条五寸の条を深さ二寸に切つて一寸間隔程度に子芋（生子）を撒播きしてその上に軽く覆土（芋が見えなくなる程度）してから完熟堆肥反当三百貫以上をふるいかけその上を更に覆土し出来上つた直後に条と条との間に配合肥料（大豊水稲配合一号か三号でよい）を反当二俵ふつて軽く打ち込んでおく。

（二）二年目

生子より生えた一年生のものを降霜前に傷まないよう掘り取りよく乾かしてセレサン石灰を撒布—貯蔵する、これを翌春三月下〜四月上旬に前年と同じ方法で条間二尺、株間五寸の千鳥植とし生子と同じ方法で施肥をする。この年は七月下旬に追肥として配合肥料を反当半俵小雨の日に（茎葉に附かないようにして）施す。

（三）三年目

（収穫貯蔵は前年に同じ）条と条の間は三尺、株間一尺五寸の千鳥に植えつける、この時の肥料は前年と同じである（麦間の時は施せないので第一回目の追肥を増施する。追肥は麦刈後と八月の上旬に各一回配合肥料を施す（肥料の使い方は前年と同じ）この年から若干生子が附着するので掘取の時に丁寧に拾い上げ初生畑へ植えつけるようにする。先進地ではこの年の終りに一個二〇〇匁程度に肥大するが当年に販売すると収量の点で非常な欠損です。

（四）四年目

条間二尺、株間二尺に植えつける（麦間）肥料は完熟堆肥を増し、この時金肥は施さないで麦刈直後に施す降霜前に掘り取れば一個五〇〇匁以上で反収八〇〇貫以上の収量となる。

（五）病害虫防除

腐敗病。雨の叩き上げで葉裏に病菌が附着して急速に蔓延し葉が黄褐色に変じて茎が倒れ最後に芋まで腐る最も恐ろしい病気である。これを防ぐために年三〜五回（雨年は回数を多くする）六斗式石灰倍量ボルドー液（硫酸銅一二匁、生石灰二四匁を別の器に硫酸銅液四升、生石灰二升の割で溶しておき硫酸銅液を生石灰の中へ入れて作る）を撒布する。この薬剤撒布は特に重要である。

白絹病。地際に白い綿状の菌糸が附着し輪状にクビレが出来て倒伏する。本病は土壌伝染で伝染力も強いので本病の多発地は作付しないが良い。発病を早く認める事が大切で早期に認めたら直ちにその芋を深く掘り取り安全な（谷川等へ捨てる土を落さぬ事）その掘り取り跡へウスプルン千倍液（水一斗に五匁）をジョロでタップリ掛けると共にその周辺にもかけておく。

（六）敷　草

腐敗病の防除干害湿害の防止等のために特に必要で干草反当三〇〇貫以上を施しておくことが大切である。施用時期は麦刈り施肥培土後に行う。

（七）今秋の麦作は

全戸横ウネに替えること。これは夏作の大増収を計るために絶対必要である。即ち麦のあるうちに施肥播種挿苗を行はねばならないからである。

麦の播き巾（中心から中心へ）二尺五寸とすること、十五度以上の傾斜畑は傾斜に従つて斜ウネにすること

産業先進地視察報告記

お茶とみかんで 富める庵原村

村議会の下村、森下（義）、小笠原（賀）、鈴木、田辺、三谷、小林、吉村、朝倉の九議員は本年七月に産業先進地として静岡県庵原郡庵原村（いはらむら）を視察し、その概要が議長宛提出されていたが、本村でも農業振興事業の活潑化を図つている今日、参考とすべき点が多くあるのでこゝに記載する。（公民館）

庵原村概況

面積　三二・七平方キロ
人口　九、三三六人
戸数　一、三六〇戸
三十二年度当初予算　三四、四六二、六五九円

主要産物

みかん二一四万貫
茶（生葉）三五万三千貫
米四千四百石
麦二千石
牛乳三〇万八千キロ
筍四百八十四トン

庵原村農協概況

組織　総務部、業務部、指導部
職員七六名、工員四三人

経営内容

農協が出来る総べての事業を取り扱つている。出資金は三千二百三十三万円で一口五百円、平均四十株をもつている。固定資金、積立金を併せて五千六百万円である。預金は現在一億五千万円程度、貸付金は七千二百万円位である。他に購売資金として年間五千万円、加工資金として年間七〜八千万円を要す。

前渡資金の利率は二銭六厘、貸付は三銭以内、当座は日歩七厘、預金利子は年七分二〜三厘である。

産業興隆の沿革

村の今日の基礎を培つたのは杉山部落である。

幕末から明治初年にかけてのこの部落の貧窮は全くひどいもので、毎年大みそか近くなつても村のどこにも金がなくて越年できない、そこで隣村伊佐布の物持ちのところへ杉山村一同で十五両の金を借りに行くのが例であつた。村中で提灯をもつている家が五、六戸、傘のある家が七、八戸しかなく、杉山といえば貧乏人の代名詞のようなものだつた。そのころの杉山村の主産業は「どくえ」（桐の一種）の実を取つて油をしぼり燈油をつくるのであつたが、維新後燈油が輸入せられ「どくえ」からつくる桐水油は全く顧りみられなくなり、村民は全く生活に窮するに至つた。

当時の名主、片平信明翁がこれを見兼ねて自宅前に青年の夜学校を設け、読み書きや一家経済の立て方などを教えて、自費で茶の種を買い村民に貸し与え、この地にはじめて茶園がひらかれた。ところがようやく企業化されつゝあつた茶業も市価の暴落により大きな痛手を受け、村民はまた〳〵生活の脅威をうけるに至つた。

指導者であつた片平翁は責任を痛感するあまり此の打開策に懸命の努力を続けたが、そのため遂に病にたおれ、療養の為熱海に入湯したさいに「報徳方法富国捷經」という書物を借りて読んだのが機縁で原村から二宮尊徳を信奉する柴田堅節翁を招き、三旬にわたつて村民を集め報徳談を講議した。そして明治九年十二月二十四日同志四十三人で杉山報徳社を結成して今日に及んでいる。

杉山報徳社が最初に使用した報徳会取扱帳は「報徳善種金加納簿」といゝ、一人一厘五毛から三厘という少額で、一回の報徳金合計がわずかに六十八銭七厘であつたのが、今日では二千万円の巨額に達し、産業資金として運用されている。

また片平翁が熱海入湯の際、みかんの栽培を習い茶に併用する産業として杉山に導入したのが今日の大を為す基因になつている。

◇収入一戸當り平均五十万円
◇一千戸のうち八〇〇戸までがオート三輪を使用している

現在の杉山部落は家並の揃つていることは、まるで別荘地へ行つた様であり、家の中に入ると台所、風呂場、物置の整備、文化的な調度、用排水の設備などおどろくほどである。

庵原村全体では便所、かまど等のいわゆる生活改善は八〇%以上完成している杉山部落の戸数は八十八戸であるがオート三輪七十五台（庵原村農家一、〇〇〇戸のうち三輪所有は八〇〇戸）自転車二百五十台、各戸に動力噴霧器を備えつけており運搬用の架線四十五ケ所があり、すばらしい産業経済部落を形成している。

みかん五十五万貫、筍六万貫がこの部落の生産高で、その昔、年越の金を隣村に借りに行つた貧乏部落とは思えない発展ぶりである。

これは立地条件に適合せる産業の導入と報徳精神による住民の勤勉及び指導者にその人を得た結果であると思料される。

産業の現況

主産業はみかんである。現在の年産額は九、二四四トン二億三千四百五十五万円となつている。

他の生産高としては製茶七八、三一八貫、六千四百二十九万円、牛乳三〇八、七五六キロ九百二十三万円、米麦六三八俵、筍四八トン計四百七十九万円、計三億一千五百五十六万円であり、みかんの生産が断然他を圧している。

そのみかんが最近では各地の生産量も増してやゝ供給過剰の傾向を示してきた、こうなると二級品の市価はうんと落ちる、そこで二級品の処理としてみかんの罐詰をしている。

農協本部のうらには敷地二千七百坪に堂々たる工場が建ち並んでいる。

罐詰工場、味噌、醤油醸造場等がある。この工場でつくられるみかんの罐詰は七万二、三千ケース（五合罐四ダース入りが一ケース）、一ケースにみかん原料五貫から五貫二百匁）、一ケースの価格は千六百円から千八百円で年産一億三千六百四十七万円である。

みかんの罐詰製造季節外には、筍三千ケース（三百五十二万円）、桃八千ケース（二十二万四千円）、魚六千ケース（二千五百三十二万円）、ジャム千五百八十四万円）計一億九千百六十四万円の罐詰を製造している。ジュース工場は年産二千三百三十三万円、醤油は百三十四万円、その他七十一万円で加工製品の総売上げは二億一千六百九十九万円となつている。

これらを併せて農家の収入は平均五十万円と云われている。

結　論

視察を通じて痛感されたことは物産の完備、生活の充実等、現在の楽土が築かれた要因は将来性のある産業（庵原村の場合はみかん、茶等）の導入によると云うことである。

もちろん住民の協同性及び勤勉等も一村興隆の大きな要素にはなるが、同じ庵原村で明治以前の農業形態を踏襲していたならば恐らく現在の楽土は築かれないだろうと推察される。

将来性のある産業の導入は一村興隆の基礎であり我が大豊村においても良き産業の導入さえあれば現在の庵原村に負けない位の楽土が築かれると云う確信を得た事は大きな収穫であつた。

先づ一産業を導入してそれが軌道に乗り余力が生じてくれば次々と産業の導入をし、多角的な農業経営を行い単一産業の脆弱性を補うと共に協同性と勤勉とを培うことも一方法であろう。これが三位一体となる時には村は必ず興るもので我々はやらなければならないと云う意慾を心に植えつけられた事を附言して結語とする。

厚生労働部長賞の栄冠

衛生施設改善 優秀地區として

舟戸地区衛生組合表彰さる

第一回高知県環境衛生推進協議会が去る十一月八日高知市中島町保護会館に於いて県下市町村衛生業務担当者はじめ関係者多数出席して盛大に開かれた。この日そ族昆虫駆除薬剤の分析と適正な使用方法について京都帝大、大野教授の講演の後、環境衛生のポイント「蚊とはえのいない生活」実践運動の現状とその推進対策について熱心な協議が行われ県厚生労働部企画編集による「山峡のまち舟戸」のスライド上映の後表彰式と地区代表四名のなま〳〵しい体験発表が行われ意義ある大会を終了した。当日高知県厚生労働部長より大豊村舟戸、中村市敷地の二地区が施設改善の県下で最優秀地区として表彰された。

杉久保線開通 「期成同盟會結成」

村長、議員ら東祖谷山村を訪問

県道杉、久保線未着手地区並びに西峰分収林及び村有樫尾山現地調査実施の目的を以って去る十月一日、大豊村議会小笠原議長、下村副議長他議員二十四名、三谷村長、小笠原助役、渡辺総務課長等一行は西峰、大畑井、沖を経て京柱峠を越えて東祖谷山村京上に到着東祖谷山、喜多村長、井上議長他関係議員出席のもとに両村合同協議会を開催、本村側提案になる杉、久保線期成同盟会々則案を提出意見交換の後、原案一部修正で全員了承それ〴〵次期村議会に提案を約して同協議会を閉ぢた。

なお、三谷村長、小笠原助役、下村副議長、小笠原産経副委員長の諸氏は帰途、西祖谷山村を訪問、横川議長、蔭尾助役に杉、久保線岩原農道の問題につき協議懇談を行ない多大の効果を収め帰村した。

磯谷部落

森末永氏に感謝状

磯谷部落では多年部落発展のために尽された森末永氏（七十二才）に対し、十一月十二日午後一時より同氏宅に於て全部落民が列席し盛大なる感謝会を行った。同日は青年団長司会のもとに感謝状及び記念品として同氏の肖像画が贈られたのち、感謝の宴が催されて午後九時頃閉会した。同氏は戦前戦後を通じ、部落行政や、公民館建築などについて公的に又、私的に尽された功績が大であるため部落総意による感謝の意が表されたものである。

八十人が受診

磯谷分館の健康診断

磯谷分館では立派な建物が出来たが内容はカラッポで部落民向上の事業にも手をつけず部落集会の為だけのものになっていたが、この程第一回の公民館の集いを持って、世帯主や婦人青年がたがいに話し合い色々な事業を行うことに決めた。その後も毎月二十日には公民館定例会を持ち、発展への研究を行っているが事業の手初めとして十月二十九日に部落民の保健衛生のため、本山保健所中村予防課長、利岡保健婦を招き健康診断を行った。診断の種類は「内科全般」「血圧測定」「血液検査」「姙産婦検診」「乳幼児検診」「検便」などが行なわれ、押しかけた部落民は八十名を越し、午後一時から午後六時まで休みなしに汗だくとなって予防課長、保健婦が活躍され部落民の保健衛生向上のため多大の成果を収めた。

村内のおとしよりは924人

90才以上は19人

各部落で敬老会開催

九月十五日の「としよりの日」から九月二十一日までの七日間が、としより福祉週間であるが、各部落で行なわれる敬老会の行事も色々の関係から必ずしも福祉週間中には行なわれていないが、これから秋祭りにかけて種々の催しで、おとしよりを慰められる。大豊村でも村内の「おとしより」九二四人に対して手拭をそれ〴〵一本宛贈呈した。又高知県からは九十才以上の高令者に毛布が一枚送られた。

部落だより

大王下部落　青年団、婦人会が主体となり九月十四日にオ十六回目の敬老会を公民館で、十六名のおとしよりを招いて行った。記念品として折詰、盃、記念写真を贈呈。

杉部落　婦人会が主体となって十月二十日に大杉劇場へ十名のおとしよりを招き歌、踊、映画などで慰めた。

日浦部落　十一月十二日に第四十一回目の敬老会を開催。浪曲や万才などで慰めた。（日刊紙上にも紹介されている）

◇村内に於ける九十才以上の高令者は次の通り。

戸手野	岡林　美津	90	女
南大王	上村　久須	90	〃
八畝	笹岡　茂登	90	〃
〃	三谷　登良尾	90	〃
葛原	宮内　繁	93	〃
東庵谷	溝淵　波留	90	〃
刈谷	横内　友	93	〃
仁尾ケ内	永野　事	93	〃
高須	楠瀬　花	90	〃
小川	小川　花	92	〃
大王下	間島　磯次	93	男
穴内二	秋山　虎次	90	〃
穴内三	秋山　節	91	女
岩原	下村　利吉	92	男
永淵	北村　安吾	93	〃
佐賀山	三好　トラ	91	女
立川三谷	内田　福太郎	94	男
一の瀬	鎌倉　幸	93	女
落合	都築　菊太	91	男

写真説明　まだ目も耳も達者なものですと毛布の贈りものを喜ぶ宮内繁さん。

村内有線放送施設

十二月二十五日に完成予定

新市町村建設促進法の事業として総経費四百九十万円で行なわれている村内私設電話及び有線放送施設工事は十月十六日に天坪穴内間の請負契約を行い現在大凡の工事が完了、続いて十一月十三日に穴内落合間の請負契約を行い工事に着手した。

全工事完了予定日は十二月二十五日となっている。

尚、スピーカの位置は次の通り。

天坪　忠魂墓地三方向
大杉　忠魂墓地二方向
　　　小学校下二方向
穴内　消防半鐘の傍三方向
大田口　相談所の裏三方向
西土居　支所の上方三方向
落合　怒田サルダキ三方向

電話は穴内、大田口は学校他は支所に設置。

助け合い運動の恩恵

共同募金本村へ 十五万円還元（31年度分）

毎年目標額達成迄に苦労を続ける共同募金は本年も二ケ月を過ぎた現在、約七〇%の成績である。さてこの共同募金は色々の社会福祉の面に配分されているが、村に対する配分も大きいものがある。昭和三十一年度の本村からの納入額は十八万三千八百七十六円である。その中から大豊村へは季節保育所（六ケ所）に対する十一万円と社会福祉協議会に対する四万三千九百四十五円、合計十五万三千九百四十五円の配分があった。村へ配分された額を差引くと結局二万九千九百三十一円が純納入額となっており大豊村も大きな恩恵をこうむっているわけである。村役場厚生課では、本年度もこの共同助け合い運動のため目標額達成に一段の協力を各部落に対して要請している。

お年玉と寄附金つき年賀ハガキ

差出は遅くとも――12月20日

お年玉つき年賀ハガキは今年も十一月十五日を期して全国一斉に売出されているこの年賀ハガキは総桐タンスやバケツやカメラや野球用グラブ等そのほかたくさんの御年玉の抽せん券がついており更にまづしい人々や身体の不自由な方々や老人や孤児など気毒な人達を収容する施設やその他たくさんな社会福祉事業にあてる寄附金がついており毎年十二月の上旬には全国的に売切れを見ている。

年賀郵便の取扱は郵便局の年間を通じての最大行事で郵便物の集中局では山の様につまれあたかも戦場を思はせる忙しさである。安定した社会状態を反映して年賀状に加え贈答用の小包の差出が年々増加し、これらの利用者が年末に押し迫って一時に多数差出すため局の取扱や輸送上に支障を来し折角だされたハガキが一月一日に配達されないと云う様な事もあるので郵便局では特に年賀ハガキは十二月十五日までに遅くとも二十日前後には必ず差出をされる様希望している。

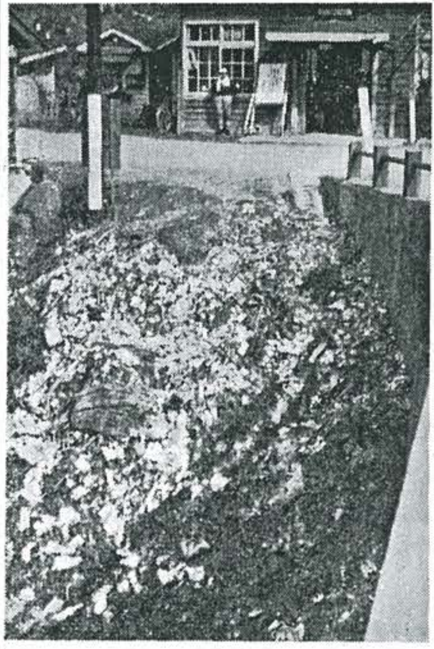
◎郵便物の住所の前に受持集配郵便局名を書きましょう。

天坪体育會結成さる

既報大豊村教育委員会の委嘱による社会体育指導委員は村民運動会その他村民の体育指導について目ざましい活躍をしつゝあるのであるが去る十月二十八日地区民の要求に応えて社会体育指導委員西岡俊郎氏の世話により天坪体育会を結成した。役員次の通り。

会長　竹村国太郎
副　西岡すみ子
　　西岡　一生
書記　前田　集一
補佐　公文　忠雄
会計　岡崎　聰
理事　七名―各部落長
幹事　岡村　千年
　　　野島　孝彦
　　　松岡　嘉幸
指導員　各部落より二名選出
顧問　支所長山崎義高
　　　公民館長佐藤多麿呂

みんなの協力で清潔な環境を



汚物を掃除して私達の目に触れる範囲から少しでも遠く離したいという気持はどのような人でも持っているであろうし人間の本能的とさえ云える清潔感から無意識的に起って来るものに違いない

人間が汚物というものに対して、かくも不快な感を持っているにかゝわらず、なぜ町や村のいたるところが「ごみ」の山で埋れているのだろうか？私達が美いし生活環境を作り上げてゆくためには、先づ生活の中に浸み込んでいるこれ等の不潔要素を除くことから始めなければならない。道徳教育の必要性が叫ばれているとき、道徳的情操を与えるものは主として環境である」と云うことを私達は先づ考えなくてはならない。日常の生活に於いて好むと好まざるとにかゝわらず押し出されて来る汚物の山は不潔な生活環境を生み出し、生活を不健全にして非合理化し非能率化するものであり、夏は伝染病の病菌を輸送する「はえ」の唯一の発生源となつて村民の健康をむしばむのである。時恰も国民健康保険制度の準備がすゝめられている時、私達村民もまた「清潔」への準備を同時にすゝめてゆかなければ健康で快的な生活はのぞむべくもないのである

昭和32年度部落別村税納税成績調

32.10.21現在　税務課

部落名	順位	納税率	部落名	順位	納税率	部落名	順位	納税率	部落名	順位	納税率
尾生	1	98.9%	沖	1	100 %	西土居	1	97.8%	馬瀬	1	82.8%
目付	2	98.5	柚木	2	99.4	八川	2	95.1	本村	2	80.4
穴内三	3	93.8	中内	3	97.7	東庵谷	3	91.6	北川一区	3	75.7
中央	4	93.7	八畝	4	96.7	安野々	4	88.6	〃二区	4	75.2
穴内一の二	5	92.5	大滝	5	96.6	三谷	5	86.8	峯	5	62.3
大王下	6	92.4	高原	6	95.9	連火	6	86.0	戸手野	6	58.3
津家	7	85.8	久生野	7	95.2	西久保	7	82.6			
葛原	8	85.4	三津子野	8	93.2	西梶ケ内	8	82.4			
桧生	9	85.3	南大王	9	92.4	岩原	9	80.6			
式岩	10	84.6	西川	10	88.6	石堂	10	78.6			
刈屋	11	82.3	怒田	11	88.0	黒石	11	77.3			
日浦	12	82.2	大平	12	85.1	上東	12	76.8			
枯谷	13	78.2	川井	13	80.2	舟戸	13	74.7			
磯谷	14	77.8	蔭	14	78.3	西庵谷	14	73.6			
立川 三谷	15	76.8	野々屋	15	76.0	大砂子	15	72.8			
高須	16	76.2	粟生	16	75.2	永淵	16	72.3			
穴内二	17	72.3	土居	17	73.9	大久保	17	70.8			
小川	18	71.7	立野	18	71.4	東寺内	18	70.2			
中和	19	70.8	大畑井	19	65.6	川戸	19	67.9			
大王上	20	70.4	川又	20	51.7	佐賀山	20	64.0			
川口南	21	69.7	落合	21	36.4	下桃原	21	63.5			
川口	22	69.2				筏木	22	58.6			
一の瀬	23	68.0				中屋	23	55.9			
谷二	24	66.8				東梶ケ内	24	54.7			
和田	25	64.3				西寺内	25	51.4			
谷一	26	63.9				上桃原	26	46.2			
穴内一の一	27	61.0				東土居	27	45.7			
杉	28	53.8				柳野	28	45.2			
仁尾ケ内	29	44.2				奥大田	29	41.0			
						大口	30	38.9			

……新生活運動……

みなさんの御意見拝聴

新生活運動が提唱せられてずい分久しくなる。云いつかれたのか此頃は全然声を聞かなくなった。それは何故だろうか？

1、提唱の必要が無くなったのか（進歩）
2、提唱しても無駄だと悟って止めたのか（あきらめ）
3、反対にあうためか（障碍）

等々いろ〳〵その理由も見つかると思はれる。

人工衛星の飛び交う程の科学的に進歩して来た時代に於て、尚前時代的な生活に停滞している状態がありはしないだろうか？

新生活を切り開くためにはもちろん個人の努力と協同の力が必要である。

酒を止めた位ではなかなか目的は達せられない。

もっと〳〵大切な大きいものが忘れられていないか。

本紙の次号は昭和三十三年新年号となる。

新年の気を新にし、明年度こそ合理的で明るい家庭を社会を築く為の努力を続ける意味に於て、広く村民からのこの種意見を左記により募集します。ふるって御投稿下さるよう御願いします。

▲締切り日　十二月二十日迄
▲字数　千字以内
▲投稿内容
新生活運動に関すること。
例えば衣食住の改善など
◎外形的な問題
◎家族関係、道徳など
◎精神的な問題
▲提出先
中央公民館　（杉局区内）

國民健康保険とは

国民健康保険法は相互共済の精神に則り疾病、負傷、分娩、死亡等の給付をなし一般国民の生活を安定させる目的を以つて昭和十三年制定公布せられたものであります。その後数回の改正をみましたが特に昭和二十二年には従来まで国民健康保険組合で運営せられたものが原則として市町村が実施するようになり、更に昭和三十年八月には国庫補助金が国の義務的経費として法制化せられるに至りました。最近七人委員会の答申や社会保障六ケ年計画には国民健康保険を速かに全市町村に実施し、国民全部を社会保障制度に加えなければならないとの強い意見や計画が進められています。国は昭和三十五年頃までには此計画を完成するよう努力をはらつており、高知県では現在二九市町村（被保健者数二〇一、〇〇〇人）が国保を実施しておりますが、こゝ数年のうちに全市町村が実施するよう計画をすゝめております、大豊村でも医療費の負担が家計に及ぼさない家庭が何軒ありましよう、毎日〳〵勤勉に仂き続けても最低生活すら困難な今日、不時の傷病によつて医療の失費を要する事態が起きた時、私経済は正に破滅に瀕する悲惨な状態に陥ります。このような危険な状態に対して何等かの予防手段を講じなくてはならない状態に立至つているのが現在です。如何に病気が原因して貧苦の道を辿られなけならない家庭が多いかは社会福祉統計にあらわれています。この統計によると生活保護法によつて毎月新しく保護を受けはじめた世帯数の六四%は世帯内に生じた病気のためとなつています。又これらの世帯のほとんどが今までの病気や生活難のため祖先伝来の田畑や家を売却したり、方々から借金をしております。それでは一体どうしたならばこの恐るべき私経済の破綻を防止することが出来るでしょうか、それは共同の力と平素の用意であります、お互いに助け合いつゝふだんの用意を怠らないことによつて何時受けるかも知れない障害を未然に防ぐことが出来ます、これが国民健康保険制度であります。（次回は国保に関する特集号発刊の予定）

國民健康保険 説明会開催

大豊村長は国民健康保険について次の計画により説明会並びに啓蒙運動を行うことになつたので村民多数出席をお願いする。

国民健康保険啓蒙運動実施計画表

月日	場所	該当部落	出席予定者	備考
十二月二日	天坪小学校	馬瀬、本村、峰、手戸野、枯谷	村長、課長、重森、西村、西岡、県係官	正午より午後四時迄
三日	久寿軒 〃	北川一区、北川二区、久寿軒	〃	〃
五日	大杉 〃 講堂	杉、高須、日浦、葛原、津家、檜生、小川、大王上、下、川口南	村長、課長、重森、西村、橋本、小笠原（長）議長、県係官	〃
六日	川口公民館	谷一、谷二、一の瀬、川口	村長、課長、重森、県係官、西村	〃
十一月二十一日	立川小学校	中央、三谷、刈谷、中和、仁尾ケ内	村長、課長、重森、内田、小笠原（武）、県係官、西村	〃
十二月九日	穴内公民館	穴内一ノ一、一ノ二、穴内二、穴内三、和田、磯谷、尾生、式ノ岩	村長、課長、重森、西村、橋本、小笠原（長）、県係官	〃
十一日	大田口小学校講堂	上東、中家、黒石、東庵谷、西庵谷、舟戸、大田口、石堂、西梶ケ内、奥大田、西寺内、東寺内、目付	村長、課長、重森、西村、山中（利信）、大利政彦、県係官	〃
十三日	西豊永 〃	東梶ケ内、西久保、安野々、川戸、滝火、下桃原、上桃原、佐賀山西十居、東十居、八川	村長、課長、重森、西村、山中（茂栄）、県係官	〃
十六日	大砂子小学校	大砂子、大久保、永渕、柳野	村長、課長、重森、西村、県係官	〃
十七日	岩原 〃	筏木、三谷、岩原	村長、課長、重森、西村、下村、県係官	〃
十九日	東豊永公民館	川又、粟生、大平、大滝、落合、西川、立野、怒田、三津子野、南大王、中内、高原、川井、八畝	村長、課長、重森、西村、小林秋義、三谷徳太、県係官	〃
二十三日	西峰 〃	久生野、大畑井、沖蔭、柚木、十居、野々屋	村長、課長、重森、西村、小林武宜、県係官	〃

十二月分衛生業務計画表

日	曜	実施時間	区分	対象者	場所	区域	医師
2	月	午前十時〜三時	X P	一般及生徒	大田口校	大田口校下	保健所
3	火	午前九時〜二時	X P	一般	〃	〃	〃
4	水	午前十時〜三時	X P	一般及生徒	穴内公民館	穴内校下	〃
5	木	午前十時〜三時	X P	〃	高須倉庫	杉校下	〃
9	月	午前十時〜三時	X P	一般	西峰公民館	西峰地区	〃
10	火	午前十時〜三時	X P	〃	落合公民館	落合地区	〃
12	木	午後一時〜二時三十分	乳児検診 姙婦検診	一般（乳児） 一般	岩原診療所 〃	岩原地区 〃	岡崎医師 〃
13	金	午後一時〜三時	乳児検診	乳児	天坪支所	天坪地区	朝倉医師
14	土	午前十時〜三時	X P	一般	西支所	豊永中部地区	保健所
16	月	午後一時〜三時	乳児検診	乳児	大田口診療所	大田口地区	高井 〃
17	火	午後一時〜三時	成人検診	成人	川口校	川口校下	秋山 〃
18	水	午後一時〜三時	乳児検診	乳児	久寿軒校	久寿軒校下	朝倉 〃
19	木	午後一時〜三時	成人検診	成人	穴内公民館 西支所	和田部落 豊永地区	長瀬 〃 上村 〃
20	金	村内連絡会					
21	土	午前十時〜三時	成人検診	成人	天坪支所	馬瀬地区	保健所
23	月	連絡会（保健婦）					
24	火	午前十時〜十二時	検便	一般	久寿軒校	久寿軒地区	保健所

苦しい生活の向上改善を研究

婦人社会学級は生活に直結

身近な生活の中から問題を見出し解決のための話し合いの中から自分自身の向上を、家庭や社会の和を進歩を願つて活潑に行なわれている社会学級婦人学級もだん〳〵と身についたものに育ちつゝある読み、書き、考え、話し、実行出来る人間になろうとして集つてくる人々はそれ〳〵忙しい生活をしているなかには苦しい生活のために身を粉にして仂いている人も居るだろう。

しかし苦しいからこそ、みんなが集つて苦しい所の原因を見きわめ、解決のための努力が続けられているのである。

それには自分自身の考え方の切り変え、生活態度の研究、家族関係の問題、さらに近所や部落内のしきたりの改善、その他たくさんの問題、障碍を俎板の上にのせて如何に上手に、おいしく料理をするか、みんなで集つて話し合いをやつたり講師を招いて研究をしているのである。

料理するものが、たくさんあつてしかも大きいものであるから二、三人位の人達丈ではどうにもならない、そして短時日でも出来るものではない。たくさんの人が寄つてしかも研究と根気のいる仕事なのである。

現在は人の集りが少なくても人々はそれを止めようとはしない。やはり自分を家庭を社会を明るくしようと云う願いがあるからだ。

村内で現在行なわれている社会学級や婦人学級へ如何にして参加しているか、どのように考えているか、それらの生活記録の中からひろつてみよう。

現在出席している学級生は一そうの研究を、出席した事のない人は次回から出席をして、理想郷実現に一歩でも近づくよう努力をしよう。（公民館）

生活綴方より

娘より 〃お母さんへ〃

「もつと気持を若く持つて下さい」

（二十才女）

お母さん、今夜も私はお母さんに「おこゞと」を云はれましたわね、私はその覚悟で六時半迄も友達の家で遊んで来たんです。

今日はとても楽しい一日でした。コーヒーやリンゴをいただきながら、女の人ばかり七、八人の集りで、話も今迄は二、三人集まれば友達の噂話に花を咲かせたものでしたが今日はちよつと違つていました。年上の方が居たせいかもしれません。〃学力の問題〃の話になつた時はみんなしんけんに自分の意見をのべました。話題も次々に出て、勉強になることが沢山ありました。

お母さん、こんな事を云うとなまいきかも知れませんが社会学級が出来てから近所のおばさん方も良く出席していますが、お母さんも月に一度位行つてはどうですか？　家庭の中でクシヤ〳〵していても歌を歌つたり話に夢中になると気も晴れて来ますよ。

お母さんはもう年をとつたからと、自分で自分を年寄りあつかいにしすぎているんじやないでしようか、お願いです。私達兄妹の為にも、もう少し気持を若く持つて下さい。

もし、このお便りがお母さんにとゞきましたら御返事を下さい。

母より 〃娘へ〃

お前の成長を願つている

（五十四才）

あーあ、今日もだれた。お母さんは仕事からもどつて一番の楽しみはお前の作つてくれた晩御飯を食べることだよ、そして風呂に入つて小説でも読んで寝るに限る、明日は又朝早いからねえ夜おそくなつたら、あくる日は仕事にならん。お母さんは話し合いも映画を見るのもよい事だと思う、思うけれ共生きてゆくためには働かなければならないのだよ、若い者は力がある、うんと仕事をし、勉強もし遊んだらよい、お母さんはお前達が一人前になつてくれるだけで充分なのだよ。

行きたいけれど出づらい私

（三十一才女）

夫は昼はとても仕事がえらく、そして忙しいので夕食がすむと新聞を少し読んだだけで寝てしまいます。子供も相ついで寝てしまいます。その後で私は一人取片付やつくろい物をします。それもすんで寝る頃は大てい九時から十時頃です。毎日こんな有様ですのでせめて月二、三回の社会学級へ行きたいと思いますが、夫がよく出て行くのがきらいなもんですから、つい〳〵欠勤になりがちです。

よい勉強が出来るし村の為になり、又自分の為ですから私は行きたいですが、一寸出にくくて困ります。と云つて夫はとてもよく理解もあり小さな事など少しも云いませんが、私は何んにも仕事をしておらず家事だけですのでほんとに出づらく思います。

商売をするとか、自分の仕事があれば又いつでも出て行きやすいのじやあないかとも思います。

社会学級は遊びに行くのではないのですから、これからは夫と共にせい〳〵勉強に行くよう努力するつもりです。

教育映画の部落上映を予定

中央公民館では十二月十五日から二十五日迄の十日間社会教育映画「娘は娘・母は母」と公明選挙映画「夫と妻とけんかした話」を希望部落で上映する予定である。

十二月十日までに部落、青年団、婦人会の希望団体を調べて日程を編成する。この映画は波多野勤子原作の映画化で文部省選定となつている。主演は夏川静江、夏川かほる、若木悦子他である。

あらすじ

幾代は三人の子の母である上の娘の咲枝は中学二年、下の照子は小学三年、長男の光一は小学六年。四十才を過ぎて依然として会社の平社員に甘んじている夫の竜吉は、どちらかというと好人物の平凡人で、そのくせ家庭の事情は妻に任せつきりの方である。

犠牲の多い母親の日々の生活をなりふり構わずこまねずみのように仂き続けながら、幾代は結構幸福であつた。子供たちがすくすくと伸びて行く姿を見て子供本位に生き続けて来た母親としての愛情の深さに自信と誇りを持つていたからである。然し娘の咲枝がようやく思春期を迎えかけたこの頃、この母親の幸福にも予期しなかつたヒビが入るようになつた。

電話開通

久寿軒中学校	杉局	七六一五番
天坪小学校	天坪局	二八番

尚これで立川小、中学校を除き村内全校に電話設置が出来た。

短歌 俳句

短歌　釣井育美（舟戸）

この米のまづきことよと云いおればキビ粉食せしを忘れるなと云う。

虎杖と書いていたどりと読むなると子等辞書のぞき笑い合いおり。

気にかゝりおりし品代ようやくに払いて晦日そばをすすりぬ。

旧正に訪う人もないまゝに家中ひゞく夫の謡曲。

俳句　西内清子（舟戸）

胎動の湯舟に満てり除夜の鐘。

春の陽に吾子ぐい〳〵と四肢伸ばす。

吾子抱きし夫によりそい初詣。

初雪や靴跡たどり水を汲む。

陸海空 自衛官志願案内

昭和三十二年度才三次募集

資格　昭和三三年三月一日現在十八才以上二十五才未満の者、中学校卒業程度の学力を有する者。

受付期間　十一月二十日から一月十一日まで。

志願手続　村役場本廳、又は支所、出張所から志願票二通を受け取りこれに所要事項を記入した上、村役場に提出すること。

試験　一月十八日から一月三十一日までの間に行う。

その他　詳細は役場へおたずね下さい。

講習生募集

村立家政高等女学校

講習期間　一月より三月末迄（午前九時〜午後四時）

科目　和裁、洋裁（撰択自由）

場所　大豊村立家政高等女学校

経費　一ケ月百円

年令には制限ありません。

詳細は家政高女または村教育委員会へお尋ね下さい。

団長に 都築幹夫君

穴内校下青年団結成式

穴内校下青年団は前団長森下弘幸君の上京後、そのまゝとなつており運営が休止していたが大杉地区村民運動会の開催を期に穴内公民館長森下勇氏の世話により十月二十五日午後七時半より穴内小学校で結成の為の協議会を開催した。

集つた青年団男女多数が種々協議の結果、ただちにその場で結成することになり役員の選出に入つた。

選挙の結果【団長】都築幹夫君【副団長】藤村保君、上村文子さん【体育部長】近藤則大君の役員が選ばれそれ〴〵就任した。

その後、運動会、慰霊祭の打合せを行つて午後十時過に散会した。